

第4回定例会の一般質問は、12月11日に行われ、4名の議員が質問しました。

杉本弘幸議員

- 1. 小平消防署庁舎改築について

瀧川司議員

- 1. 指定管理鳥獣(鬮)対策の今後について

西村健一議員

- 1. マイナンバーカードについて

高野謙市議員

- 1. 持続可能となる農地の保全とスマート農業の取り組みについて

小平消防署庁舎改築について

杉本弘幸



永年の懸案事項である小平消防署庁舎改築について、今般耐震診断結果が報告され、併せて改修工事と新築工事の比較検討内容の説明がなされた。このため、今後どのような方針で事業を進めようとしているのか、建設場所・事業内容・概算事業費・年次計画等について伺う。町づくりの推進施策は多種多様で財政状況を考慮することは十分承知しているが、庁舎改築の必要性を議論始めてから10年程度の月日が経過する中、多くの町民の方々から庁舎改修の必要性をお聞きしている。町民生活に欠かせない防災対策も含め、安全安心を

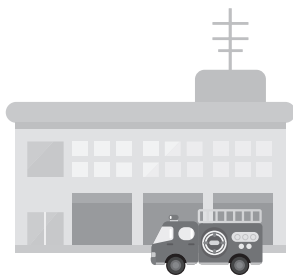
確保する上においても、早期着手して完成が望まれていると考えるので、整備年次の方向性を明確にしていきたい。

建設場所は現庁舎の裏側とし、財政状況等を総合的に判断して実施時期を判断する

町長 関次雄

本庁舎は建設から45年が経過し経年による老朽化が進んでおり、町民生活において重要な施設であると認識している。この度の耐震診断の結果は、「地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある」とのものだった。また、現庁舎の改修と新築を比較した概算事業費も提示され、改修工事では約7億5千700万円、新築工事では約10億7千100万円と示された。このため、庁舎改築準備室による基本構想案を修正したのち、パブリックコメントを実施して基本

構想を決定させ、基本計画や実施計画、庁舎建設と進めたい。建築場所は、市街地の中心であり迅速な出動が可能な役場と近く災害時には速やかな対応や情報共有が可能で、地域住民が慣れ親しんだ現庁舎の裏側と考え、盛土等により極力浸水の影響を少なくする工夫が必要であり、現時点では2階建て延床面積1千200㎡程度を想定している。町民が一時的に避難できるなどの防災機能や署員の使い勝手の良さを考慮し現代に沿った庁舎とした。事業実施については、町他事業計画との関係、財政状況などを総合的に見極め実施時期を判断する。



指定管理鳥獣(鬮)対策の今後について

瀧川司



(1)先般小平町猟友会と議会との意見交換会の中で猟友会から今後の鬮対策について人里への定着を防ぐため個体や構成(子連れ、兄弟)によって変わる行動を目撃情報や痕跡情報を把握し一元化する仕組みの必要性や町外ハンターの協力を仰ぐ事などが提言されました。道内、管内での対策や連携も含めて町長の考えをお伺いします。

(2)物心両面で猟友会を支えていかなければならないと考えます。産業団体や地域の方も含めて協議会を立ち上げ情報を共有し、対策を検討していただきたい。